

病床機能転換概要報告書

- 1 病院名：社会医療法人熊谷総合病院
- 2 所在地：埼玉県熊谷市中西 4 丁目 5 番 1 号
- 3 病床機能転換概要

転換前 病床機能区分	転換病床数	転換年月日
	急性期（一般）	
回復期	42 床	令和 4 年 10 月 1 日 (予定)

- 4 提供する医療の内容

病床機能区分	変更前	変更後
高度急性期	10 床	10 床
HCU 病棟	10 床	10 床
急性期	<u>201 床</u>	<u>243 床</u>
急性期一般	<u>184 床</u>	<u>226 床</u>
SCU 病棟	3 床	3 床
コロナ患者対応	14 床	14 床
回復期	<u>99 床</u>	<u>57 床</u>
回復期リハビリテーション病棟	57 床	57 床
地域包括ケア病棟	<u>42 床</u>	二
合計	310 床	310 床

○病床機能転換の経緯、地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

現在、当院では新型コロナウイルス患者対応のため、一般病床の一部を閉鎖しております。救急搬送受入件数につきましても、年々増加しており、病室が不足し救急受入に苦慮していることなどから病床機能転換を考えております。

また、地域における病院の機能分化を適切に推進する観点から 200 床以上である当院におきましては、関連医療機関との連携を深めるとともに急性期医療に注力し、地域の中核病院として救急医療に貢献してまいります。

○新たに担う役割

地域包括ケア病棟では、当院で急性期を経過した患者を受け入れております。急性期病床に転換することでより多くの救急搬送を受け入れることが可能になります。また、地域医療支援病院の申請を行っていることから、紹介・逆紹介も引き続き推進してまいります。

ポストアキュート患者につきましては地域の医療機関との連携をさらに強化し、シームレスな地域医療を継続してまいります。

○将来の方向性

当面は、転換後の体制である一般急性期 240 床、HCU10 床、SCU3 床、回復期リハビリ 57 床を維持していきたいと考えております。

5 転換後の見込

届出予定基本診療科施設基準 急性期一般入院料 1 (42 床増)	算定開始年月日 令和 4 年 10 月
患者の受け入れ見込み	
【転換前】 自院（救急含む）からの入院 年間 894 人（98%） 他病院、施設等からの入院 年間 20 人（2%） 年間救急搬送患者数（年間） 2020 年度 2,902 人 2021 年度 3,156 人 年間救急搬送応需率 2020 年度 86.4% 2021 年度 81.8%	【転換後】 自院（救急含む）からの入院 年間 1,100 人（85%） 他病院、施設等からの入院 年間 200 人（15%） 年間救急搬送応需率 90.0%

医療（介護）連携見込み	
<p>【転換前】</p> <p>○主な紹介元：循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p> <p>○主な紹介先：循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p>	<p>【転換後】</p> <p>○主な紹介元：循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p> <p>○主な紹介先：循環器・呼吸器病センター、埼玉医科大学国際医療センター、熊谷外科病院、埼玉慈恵病院、関東脳神経外科病院、熊谷生協病院、熊谷福島病院、藤間病院、行田総合病院、群馬県立がんセンター 他</p>

6 医療従事者

(令和4年7月1日現在)

職種	転換前の人員（人）			転換後の予定人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	56	355	20	56	355	20
看護師	245	68	44	250	68	44
准看護師	13	19	15	15	19	15
看護補助者	17	49	42.2	18	49	42.2
理学療法士	61	0	0	61	0	0
作業療法士	27	1	0.5	27	1	0.5
視能訓練士	3	0	0	3	0	0
心理士	1	0	0	1	0	0
診療放射線技師	23	1	1	23	1	1
臨床検査技師	23	3	2.2	23	3	2.2
臨床工学技士	8	0	0	8	0	0
管理栄養士	5	1	1	5	1	1
薬剤師	18	1	0.8	18	1	0.8
事務	69	24	18.7	69	24	18.7
その他	21	3	1.5	21	3	1.5
計	590	525	146.9	598	525	146.9

確保状況・確保策、確保スケジュール

(※変動が生じる予定の人員について、確保策等を具体的に記載してください。)

今回の病棟転換において、入職予定者を含めると人員は充足しており、転換する病棟においても看護基準はクリアしていますが、退職・休職等の人員変動に備え、10月までに10名程度の看護師確保を予定しております。

7 主な病院内施設・設備

転換前	転換後
<u>急性期一般入院基本料1 (198床)</u>	<u>急性期一般入院基本料1 (240床)</u>
病室4床室 41室	病室4床室 49室
病室2床室 4室	病室2床室 4室
病室1床室 26室	病室1床室 36室
HCU (10床)	HCU (10床)
SCU (3床)	SCU (3床)
病室3床室 1室	病室3床室 1室
<u>回復期リハ病棟入院料1 (57床)</u>	<u>回復期リハ病棟入院料1 (57床)</u>
病室4床室 13室	病室4床室 13室
病室2床室 1室	病室2床室 1室
病室1床室 3室	病室1床室 3室
<u>地域包括ケア病棟入院料2 (42床)</u>	
病室4床室 8室	
病室1床室 10室	
診察・処置室 38室	診察・処置室 38室
手術室 7室	手術室 7室
リハビリテーション室 1室	リハビリテーション室 1室
スタッフステーション 9室	スタッフステーション 9室
浴室・シャワー室 3室	浴室・シャワー室 3室
食堂談話室・デイルーム 7室	食堂談話室・デイルーム 7室

(※増減が生じる施設・設備は、アンダーライン等わかるよう記載してください。)

8 医療（介護）連携における課題・問題点

後方施設のエリア拡大及び紹介・逆紹介等により近隣医療機関との連携強化を図り、地域医療に貢献したいと考えております。

熊谷総合病院病棟編成

	再編前		再編後（予定）	
	機能	病床数	機能	病床数
新館 2 階	HCU (高度急性期)	10 床	HCU (高度急性期)	10 床
新館 3 階	一般 (急性期)	42 床	一般 (急性期)	42 床
新館 4 階	<u>地域包括ケア</u> (回復期)	42 床	<u>一般</u> (急性期)	42 床
本館 4 階	回復期リハ (回復期)	57 床	回復期リハ (回復期)	57 床
本館 5 階	一般 (急性期)	48 床	一般 (急性期)	48 床
	SCU (急性期)	3 床	SCU (急性期)	3 床
本館 6 階	一般 (急性期)	41 床	一般 (急性期)	41 床
	コロナ対応 (急性期)	14 床 (うち休止 4 床)	コロナ対応 (急性期)	14 床 (うち休止 4 床)
本館 7 階	一般 (急性期)	53 床	一般 (急性期)	53 床